

ID: _____



（ 右 ・ 左 ） 乳房全摘出術を受けられる患者様へ

この用紙を入院当日お持ち下さい

患者様氏名		様	主治医：		受け持ち看護師：
月日	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /
経過（病日）	入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日～5日目	手術後6日～退院
達成目標	 - 手術の必要性を理解し、同意している - 手術の準備が整っている		- 血圧が安定している - 傷の痛みが軽度、またはない - 出血がない	- 傷の出血、腫れ、熱感がない - 傷の痛みが軽度、またはない - 乳房切除後のリハビリを行うことができる - 日常生活の注意点を理解できる	- 管が抜ける - 傷および管が抜けた後の出血・腫れ・熱感がない - 退院後の生活の注意点がわかる - リハビリを継続しておこなえる
治療・薬剤（点滴・内服リハビリ）	- 現在内服しているお薬を確認します - 術前中止薬が中止になっていることを確認します	麻酔科から指示のあったお薬は朝6時に内服します	- 点滴をしていますが夜までには終了します - 術後3時間、心電図モニター酸素をおこないます	- 術後1日目より手術した側の腕のリハビリを開始します - 鎮痛剤と胃薬が処方されます - 痛みが気になるとき内服してください	- リンパ節郭清した方は、退院前にリンパ浮腫指導を行います - 退院後も無理しない範囲でリハビリを継続します
処置	- センチネルリンパ節生検がある場合、手術前日の15時にRI室で手術する側の乳房に注射をします - 左右確認のために、医師が手にマーキングします		- 手術後1時間、2時間、4時間後に検温します - 傷の近くに管が入ってきます - 術後数日間管が入った状態です	- 術後5日～6日目に管が抜けます - 管が抜けるのが退院の目安です	管が抜けたら創部のテープを剥がし、シャワー浴を実施します。シャワー浴が終わったら、退院後のテープの貼り替えをご説明します。
検査	入院前に歯科受診していることを確認します			- 予定はありません - 必要時はご案内します	
活動安静度	特に制限はありません	手術衣、弾性ストッキング紙パンツを着用して手術室に（歩行・車いす）で入ります	- 術後3時間は安静です - 安静解除後は歩行できます	- 特に制限はありません - 手術した側の腕に負担がかからないよう動いてください	
食事	- 夕食まで摂取できます - 水分は21時まで飲めます 21時以降はお渡しする経口補水液のみ飲んでください	前日から指定された時間までに経口補水液を飲んでください	- 術後3時間経過すれば飲水できます - 飲水が可能となれば食事も再開します		
清潔	シャワー浴をします	術前に顔や体にクリーム類は塗らないでください	- 術後1日目は体を拭きます - その後は適宜体を拭き、洗髪を行いますのでご希望をお知らせください	- 管が抜けた当日からシャワー浴が可能です。 - 入浴開始は初回外来時に医師に確認してください	
排泄	最終排便日時を確認します		- 術後の安静解除後はトレイ歩行できます - 制限はありません	【退院後の生活について】 - 退院後の日常生活の注意点については、別紙お渡しする「乳房切除の手術を受けられた方へ」を参照してください - リンパ浮腫について - リンパ浮腫は腋窩リンパ節を郭清した場合出現する可能性があります。パンフレットに記載したことに注意することに加え、リンパ浮腫指導を適宜実施してください 38度以上の発熱が数日続く、傷が赤く腫れ熱感がある、傷からしみ出しがあるなどの症状があるときには受診をご相談ください	
患者様及びご家族への説明生活指導服薬指導	- 手術、入院生活について説明します - 手術室看護師の訪問があります - 薬剤師から薬について説明があります - 外来でバストバンドと優肌絆を購入してください	- 義歯、貴金属、湿布、ヘアピン等は朝のうちに外しておいてください - バストバンドは手術室へ持参します	傷の痛みが強いとき、吐き気などのつらい症状が出たときは看護師にお知らせください		

注1 病名は、現時点で考えられるものであり、今後の検査などを進めて行くに従って変わることがあります。
注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

説明を受けた日 年 月 日

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
Tel：0296-77-1121 令和8年5月更新

説明を受けた方の氏名 (続柄:)